入れました。「確認テスト」では、授業とまったく同じ問題ではなく、似てはいるものの初見の問題が出されます。丸暗記では通用しないので、発展形の問題でも解けるように準備しました。それでも満点は難しく、「確認テスト直し」で見直します。そこまでやると、その分野の問題の解き方はもう忘れないですね。

それから、毎日、授業が終わってから、先生に演習プリントをもらって添削指導も受けていました。1人ひとり違う演習プリントで、とてもきめ細かな指導だったと思います。

吉良　科目ごとに学力別のクラス分けを行っていますが、それだけではカバーしきれない部分もあります。そこで、日頃の授業の様子や「確認テスト」の状況をチェックして、生徒1人ひとりに最適なレベル、単元の演習プリントを渡しています。全員の弱点を細かく把握できる少人数制だからこそ可能な指導でもあると思います。

生徒同士で自分の問題の解き方を紹介しあう「Input-Output」方式

最新の出題傾向も踏まえたオリジナルテキスト

葛西　オリジナルテキストも秀逸です。幅広い分野の多様なパターンの問題が網羅されており、難易度別でαとβの2種類があります。私は得意な分野はαだけ、苦手分野は両方を解くようにしました。対策本も充実しており、出題傾向の把握に役立つほか、直前期の予行演習としても活用しました。私は結局、オリジナルテキスト、対策本以外の参考書・問題集は一切使用しませんでした。

吉良　オリジナルテキストは、旧両国予備校時代から蓄積されてきた医学部の頻出問題をもとにして、毎年すべての医学部の入試問題を詳細に分析して、新傾向問題を加えて改良しています。対策本も、専任講師が半年かけて、予想問題を新規作成しており、毎年、入試本番で類似問題が出題されたという声が聞かれます。そのほか、年3回、グループ校全体で模試も実施しています。大手模試以上に、この模試の偏差値の正確性が高いと好評で、大学選びの際に大いに参考になっています。

葛西　また、入試が近づいてきた時期から、オプションの個別授業も受講しました。ずっと私を見守ってきた先生から、マンツーマンで教えてもらうことで、自分では分からない弱点に気づくことができました。たとえば、私立医学部の数学では、単に正解できればいいわけではありません。速く確実に解くベストの解法を伝授され、得点力が大幅にアップしました。

吉良　私立医学部では、大量の問題が出題されます。それに短時間で対応するには、時間がかからず、なおかつ計算ミスの少ない解法を選ぶことが重要になります。

葛西　確かに、とにかく問題量が多く、最後に見直しの時間を確保する余裕なんてありません。計算ミスが少ない実践的な解法を身につけたことは、とても役立ったと思います。

12時間の強制拘束体制で偏差値が40近くアップ

葛西　何よりも大きかったのが、勉強に集中できる環境です。朝9時から夜9時まで強制的に勉強させられ、必然的に勉強の量が増えます。周りが頑張っている姿も刺激になり、やる気を持続させることができました。

吉良　実は創立当初、寮がなかったこともあって、7時前後に夕食を食べに行ってそのまま帰宅する生徒がほとんどでした。それでは医学部に合格できるだけの勉強量は確保できません。そこで、食堂を作り、夜9時まで強制的に勉強させるシステムを導入しました。その効果は大きく、合格率が飛躍的にアップしています。

葛西　勉強に集中すると、食事を抜きがちで、体調を崩すことにもなりかねません。決められた時間に30分間、仲間と食卓を囲むのは、いい気分転換になりました。栄養バランスのとれた、おいしい食事のおかげで、風邪をひくこともありませんでした。

吉良　メデュカパスに入ることが決まった生徒には教室を開放しています。4月に授業が始まる前に、基礎固めをしておくとともに、1日12時間強制拘束システムで勉強するリズムにも慣れてもらうことが目的です。

葛西　私は2月末から通い、12時間自習していました。先生に質問することもできますし、事務スタッフの方々も協力的で、英単語が覚えられない悩みを打ち明けたところ、私専用の「苦手な英単語リスト」を作ってくださったほどです。メデュカパスを活用しきったことで、現役のときは英語・生物・化学が30台、数学は50前後だった偏差値を、全科目70前後に上昇させることができ、メデュカパスを選んでよかったと思っています。